



保護者・地域の皆さまへ

資源回収

アンケート結果のお知らせ

～ 皆さまのご協力に心より感謝申し上げます～



いつも資源回収活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。
皆さまの温かいご支援が、子どもたちの学びや地域の支えとなっています。



アンケート結果を元に、資源回収のやり方を見直していきたいと思います。



資源回収に関する 生徒アンケート結果



～今後の資源回収のあり方を考えるために～

対象 中学生
内容 資源回収への参加経験・必要性・負担感・改善案
目的 PTA・学校・地域で
今後の方向性を検討するため

2 全体傾向（要点） — 生徒の声から見たこと —



「あった方が良い」が
多数派



環境・地域への貢献を
感じている生徒が多い



一方で「負担感」や
「関心の低さ」も存在



「今のまま」よりも
「やり方の見直し」を求める
声が多い

必要性は感じているが、負担は減らしたい

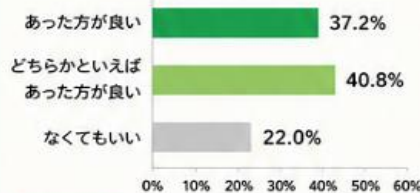
3 Q3 資源回収に 参加したことがありますか？



■ 参加したことがある
■ 参加したことがない



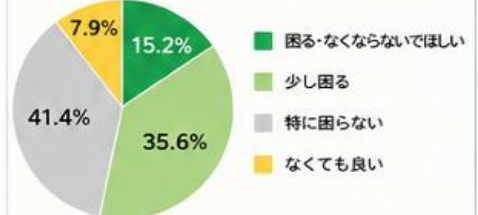
4 Q4 資源回収があることについて どう思いますか？



分析コメント

約78%が「必要性あり」と感じており、
資源回収の意義は広く認識されている。
一方で、約22%は「なくてもいい」と回答。

5 Q5 資源回収がなくなったら どう思いますか？



分析コメント

「特に困らない」が41.4%と最も多いが、
「困る・なくならないでほしい」も15.2%存在。
必要性を感じつつも、形の見直しを望む傾向。

6 Q6 資源回収について思うこと（複数回答）



ポジティブ意見

・環境に良いと思う
・地域のためになっている

ネガティブ意見

・家の人が大変そう
・天候に左右されて大変そう
・関心がない／わからない

「環境・地域には良いこと」と理解しつつも、「負担感」や「関心の低さ」も存在

7 Q7 続けるならどんなやり方が 良いと思いますか？（複数回答）



生徒が望む方向性

- ✓ 負担軽減
- ✓ 自由参加
- ✓ 持ち込み型
- ✓ 時間改善
- ✓ 業者活用

分析コメント

「やりたい人だけ参加」が
最多（50.3%）。
負担を減らす工夫や、自由な
参加スタイルへの要望が強い。

8 Q8 自由記述まとめ

① 環境・地域貢献

「地域を綺麗にしたい」
「環境にいいと思う」
「地域のためになる」

傾向

活動意義を前向きに
捉える声あり



② 負担・運営面

「朝早いのが大変」
「家の人が大変そう」
「部活と重なるときつい」

傾向

“やり方”への改善希望が多い



③ 認知不足

「何のためかわからない」
「資源回収を知らない」

傾向

目的・使途説明不足が
課題



④ 継続希望

「なくならないでほしい」
「続けてほしい」

傾向

完全廃止より改善継続を
望む声



9 現状課題の整理

分類	内容
運営負担	朝早い・天候依存・家庭負担
参加方法	強制感・地域差
情報不足	活動目的・収益用途が不明
継続性	担い手不足への不安



10 生徒アンケートから見える改善案

案① 持ち込み型へ 段階移行

- ・学校コンテナ設置
- ・公民館回収
- ・年1～2回集中型



案② 自由参加型へ 変更

- ・強制感を減らす
- ・協力可能意欲中心



案③ 活動意義の 見える化

- ・収益用途公開
- ・環境効果説明
- ・生徒への周知



案④ 時間・日程 改善

- ・朝早さ軽減
- ・部活との重複回避



11 総括

生徒アンケートから見た方向性

- ✓ 「地域や環境に役立つ」と感じている
- ✓ 「完全廃止までは望んでいない」
- ✓ ただし「今の形のまま」には負担感あり



今後の方向性

「継続か廃止か」ではなく
「負担を減らしながら
続ける方法を考える」
ことが重要。



ミニ要約（役員会談み上げ用）

- 約8割が「資源回収はあった方がよい」と回答
- 一方で家庭負担・朝の負担への声も多い
- 「持ち込み型」「自由参加型」への改善希望が目立つ
- 生徒は「廃止」より「改善継続」を望む傾向



地区別 中学生人口推移推計（修正版）

■ 現在（中1-3） ■ 3年後（小4-6） ■ 6年後（小1-3）



本推計は、現在の中学生数を基準に、3年後・6年後の対象学年を遡って推計したものです。

地区委員会・資源回収に関するアンケート結果 （保護者）

～ご協力ありがとうございました～

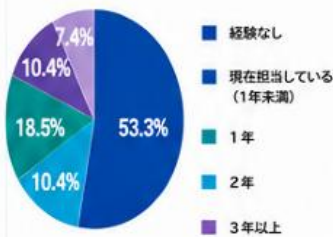


全体まとめ （ポイント）

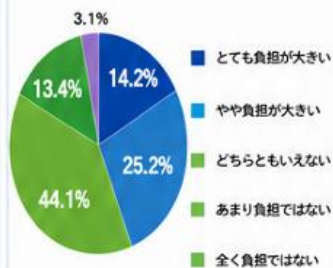


- ✓ 地区委員の活動には「負担が大きい」「時間がとられる」という声が多く、負担感が大きいことがわかりました。
- ✓ 資源回収の必要性は「必要」が約6割、継続するなら方法の見直しを求める声が多く見られました。
- ✓ 地区委員の担い手は「見つかりにくい」が約7割で、理由は「負担が大きい」「時間不足」が中心でした。
- ✓ 今後の地区委員は「なくす・廃止する」の意見がやや多く、見直しや簡素化を求める声も多くありました。

Q1 地区委員の経験年数を教えてください。



Q2 地区委員の活動についてどう感じますか？



Q3-1 活動の中で、困ったこと・大変だったこと（複数選択可）



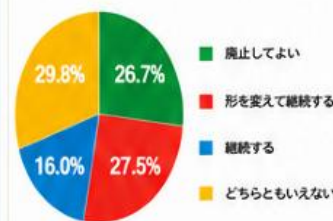
Q3-2 上記の中で、最も大変だったもの（1つ選択）



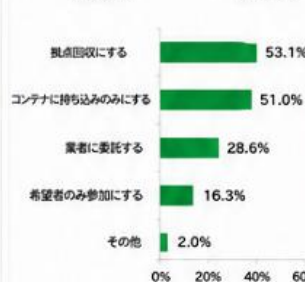
Q4 資源回収についてどう感じますか？



Q5 資源回収の必要性についてどう考えますか？



Q6 「形を変えて継続」と考えた方へ、どのような形が良いと思いますか？（複数回答可）



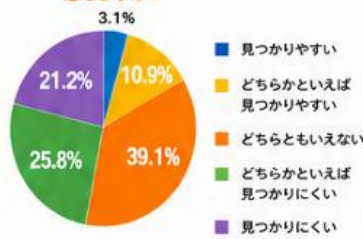
Q7 地区委員は、今後どうするのが良いと思いますか？



Q8 資源の改善として有効だと思う方法（複数回答可）



Q9 地区委員の担い手は、見つかりやすいと感じますか？



Q10 見つかりにくい理由があれば教えてください。（複数回答可）



Q11 今後、再度地区委員を引き受けたいと思いますか？



まとめ

- ✓ 地区委員の活動は「負担が大きい」と感じる方が多く、負担感が大きな課題です。
- ✓ 資源回収は「必要」と考える人が約6割ですが、「方法を変えて継続すべき」という意見も多く、見直しの余地があります。
- ✓ 担い手確保が難しい背景には、「負担」「時間不足」「やりがいの感じにくさ」などがあります。
- ✓ 今後は、負担を減らしながら、持続可能な仕組みづくりが重要です。



今後の検討の視点（提案）

- ✓ 負担軽減につながる新しい回収方法の検討（持ち込み・業者委託など）
- ✓ 参加の自由度を高める仕組みづくり（やりたい人が参加できる環境）
- ✓ 収益の使途の透明性・柔軟性の確保と、保護者への共有



地区委員会・資源回収に関するアンケート結果 （保護者）

～ご協力ありがとうございました～



全体まとめ （ポイント）



- ✓ 地区委員の活動には「負担が大きい」「時間がとられる」という声が多く、負担感が大きいことがわかりました。
- ✓ 資源回収の必要性は「必要」が約6割。継続するなら方法の見直しを求める声が多く見られました。
- ✓ 地区委員の担い手は「見つかりにくい」が約7割で、理由は「負担が大きい」「時間がとれない」が中心でした。
- ✓ 今後の地区委員は「なくす・廃止する」の意見がやや多く、見直しや効率化を求める声も多くありました。

Q12 上記の理由があれば教えてください。



時間・負担に関すること

- ・時間がない／共働きで時間がとれない
- ・仕事や家庭の都合で参加が難しい
- ・精神的な負担が大きい
- ・年に一度でも負担に感じる
- ・業務が非効率で大変（経験者の声）



役員選出・体制に関すること

- ・立候補者がいない、選出が大変
- ・中学入学前からの選出や中3でも負担
- ・人数が少ない地区では負担が大きい
- ・地区委員長になりたくない、揉めることも
- ・他の役員をやらなくてよい
- ・条件が合えばやる方がいい、やる人がいなければやらない。



必要性・役割に関すること

- ・地区委員の存在理由がわからない
- ・資源回収の必要性を感じない
- ・仕事内容が不明確



やりがい・前向きな意見

- ・地域交流の機会になってよかった
- ・年1回の業務で活動しやすい、負担は少ない
- ・引き継ぎがしやすい（被せて交代）
- ・他のPTA役員より引き受けやすい



その他

- ・資源回収後の対応など運営面の負担
- ・内容が不明・地域への働きかけが困難
- ・学校にお金を納めているので十分
- ・条件が合えばやる方がいい、やる人がいなければやらない。



Q13 地区委員の制度や資源回収について、ご意見があればご自由にお書きください。



資源回収のあり方・方法の見直し

- ・自由参加、ゴミ集積所での回収で効率化を
- ・回収範囲の見直しや車の確保が課題
- ・アルミ缶回収ボックスの設置など新しい方法を
- ・日時の重複や人手不足の改善を
- ・資源回収は負担が大きく、廃止を検討すべき



制度・役割に関する意見

- ・地区委員の役割や目的が伝わっていない
- ・地区委員は不要／他の活動（見守り・パトロール）を重視すべき
- ・選出方法にばらつきがあり、公平性に欠ける
- ・仕事内容が資源回収以外わからない
- ・引き継ぎや連絡体制が不十分



外部委託・負担軽減の要望

- ・外部に委託すべき／お金を払って発注してほしい
- ・共働き世帯が多く、負担が大きい
- ・役員長・副委員長長の負担が特に大きい



必要性・意義に関する意見

- ・必要性を感じない／利益が少ないなら廃止でよい
- ・子どもにとって良い経験だと思う（意義を理解）
- ・資源回収の収益の使い道を明確にすべき



その他の意見

- ・学校行事の資金になるので続けたい
- ・地域や家庭によって負担に差がある
- ・仕事や時間の制約が厳しい
- ・経験者からの負担や運営の大変さの指摘 など



まとめ

- ✓ 多くの保護者が「負担の大きさ」「時間の確保の難しさ」を感じています。
- ✓ 資源回収の必要性は認めつつも、方法の効率化・簡素化・外部委託・廃止など、さまざまな意見が寄せられました。
- ✓ 選出方法の公平性や情報の透明性を高めることが、負担軽減と担い手確保の鍵になると考えられます。
- ✓ 今後は、負担を減らしながら、持続可能な仕組みづくりが重要です。



今後の検討の 視点（提案）

- ✓ 負担軽減につながる新しい回収方法の検討（持ち込み・業者委託など）
- ✓ 参加の自由度を高める仕組みづくり（やりたい人が参加できる環境）
- ✓ 収益の使途の透明性・柔軟性の確保と、保護者への共有



資源回収についてのアンケート結果



～先生アンケート結果報告～

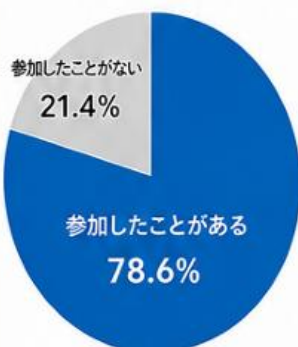


全体まとめ (ポイント)



- ✓ 約71%の先生が「資源回収はあった方がよい（あった方がよい+どちらかといえばあった方がよい）」と回答。
- ✓ 一方で、約64%の先生が「負担を感じている（やや負担+とても負担）」と回答。
- ✓ 「なくなったら困る・少し困る」と回答した先生は約43%で、一定の必要性は感じている。
- ✓ 「持ち込み方式」「業者委託」など、回収方法の見直しを求める声が多い。

Q1 資源回収に参加したことがありますか？



約8割の先生が参加経験あり。

Q2 資源回収があることについてどう思いますか？



約71%が「必要寄り」の回答。

Q3 資源回収について負担に感じますか？



約64%が負担を感じている。

Q4 資源回収がなくなったらどう思いますか？



「困る・少し困る」は約43%。

Q5 資源回収について思うこと（複数回答可）

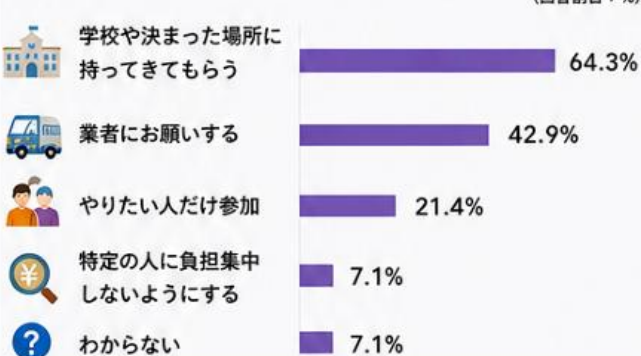
(回答割合：%)



「地域・環境への意義」がある一方、「家庭負担」や「手間の負担」も見られる。

Q6 続けるならどんな方法が良いですか？（複数回答可）

(回答割合：%)



「持ち込み方式」への支持が最も多い。

Q7 自由記述（一言） 意見のカテゴリ別まとめ

負担・運営に関する意見

- ・携わる方の負担軽減が必要
- ・天候に左右される
- ・負担と意義のバランスが必要
- ・先生方の負担を軽減したい



収益の使途について

- ・教育活動費を柔軟に使えるようにしてほしい
- ・収益の用途を広げてほしい



制度・運営方法について

- ・PTA活動でなく自治会でもよい
- ・業者委託も検討したい
- ・持ち込み方式への変更希望



総括

- 1 必要性は一定程度感じられている
約71%が「必要」と回答。
- 2 ただし負担感は大い
約64%が負担を感じている。
- 3 方法の見直しを求める声が多い
特に、「持ち込み方式」「業者委託」「負担分散」への期待が大きい。



今後の検討の 視点（提案）

- ✓ 持ち込み方式への移行検討
- ✓ 業者委託の可能性検討
- ✓ 負担の偏りを減らす仕組みづくり
- ✓ 収益用途の透明化・柔軟化
- ✓ PTA・自治会・学校の役割整理





資源回収の今後の改革案まとめ

～負担を減らしながら、参加しやすく、持続可能な仕組みへ～



1 「持ち込み型」へ段階移行（最有力）

内容

現在の“地区巡回回収”を減らし、



学校コンテナに持ち込み



年1～2回の集中回収日

（現在も本部コンテナの中を見て年2回程度業者へ持ち込みをしています）



公民館・自治会館への持ち込み



保護者が都合の良い時間に搬入

支持される理由（アンケート結果から）



「やりたい人だけ参加」 50.3%

「学校や決まった場所へ持ち込み」 37.7%



「拠点回収」 53.1%

「コンテナ持ち込み」 51.0%



「学校や決まった場所に持ってきてもらう」 64.3%

メリット

- ✓ 朝早い負担が消える
- ✓ 地区差問題を軽減
- ✓ 人数減少にも対応
- ✓ 「やれる人がやれる時に」が可能
- ✓ PTA役員の拘束時間を減らせる



デメリット

- ・高齢者家庭の回収減少
- ・地域交流感は薄くなる
- ・管理体制が必要



2 「自由参加型」へ変更

内容

地区委員制を縮小し、



強制選出をやめる



希望制へ移行



ボランティア登録制



単発参加OK



“できる人ができる範囲で”

背景

保護者調査では、

- ✓ 「任意参加」 36.6%
- ✓ 「負担が大きい」
- ✓ 「時間がない」
- ✓ 「共働き世帯が多い」

が非常に強く出ています。



人口推移でも、地区ごとの偏りが大きく、
今後は「全地区均等負担」がさらに
難しくなる可能性があります。

メリット

- ✓ 担い手不足対策
- ✓ PTA離れの抑制
- ✓ “やらされ感”軽減
- ✓ 協力者の質が上がる



デメリット

- ・参加人数が不安定
- ・一部負担集中の可能性
- ・運営調整役は必要



3 「業者活用+縮小継続型」

内容

資源回収自体は残しつつ、



回収は業者委託



PTAは管理中心



年1回のみ開催



イベント化



学校祭・友祭祭運動



支持背景（アンケート結果・自由記述から）



「業者委託」 28.6%



「業者をお願い」 42.9%

自由記述でも…

「外部委託」

「お金を払ってでも負担軽減」

「役員負担を減らしてほしい」

が目立っています。



メリット

- ✓ 負担を大幅軽減
- ✓ 継続性が高い
- ✓ 学校側との調整がしやすい
- ✓ “完全廃止反対層”にも配慮可能



デメリット

- ・収益減の可能性
- ・委託費が発生
- ・地域活動感は弱くなる



今後のおすすめ進め方（段階移行のイメージ）

2026年度

現行+試験的に
拠点回収を実施

- ✓ 現行の地区巡回回収を継続
- ✓ 試験的に自治会館・公民館への拠点回収をいくつかの地区で実施
- ✓ 学校コンテナの運用開始



2027年度

拠点回収、
学校コンテナ回収中心へ

- ✓ 地区巡回回収を縮小
- ✓ 拠点回収を拡大・定着
- ✓ 学校コンテナ回収を中心に運用
- ✓ 年1～2回の集中回収を実施



2028年度

自由参加+持ち込み型へ
完全移行

- ✓ 地区巡回なしへの完全移行
- ✓ 自由参加型の仕組みを定着
- ✓ 持ち込み型が主流に
- ✓ 持続可能な体制として確立



段階移行のポイント

- ✓ 急激な変化への反発を避けられる
- ✓ 「完全廃止ではない」
- ✓ 「でも負担は減る」
というバランスが取れる



これから大切にしたいこと

人口推移を見ると、今後は地区によって維持可能性に大きな差が出てきます。
“全地区同じ運営”ではなく、
「参加しやすい仕組みへ変える」
ことが重要です。



みんなが無理なく参加できる形で、地域と学校のつながりを未来へつなげていきましょう！



KO KI NU



小貝

鬼怒

RATHU

